

# 日本計量新報

計測と科学  
日本計量協会  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112  
E-MAIL: jic@jic.or.jp

Yamaha  
清潔な環境を創造する  
安全な電子レンジと自動販売機  
計測・検査・校正・校正機器  
計測・検査・校正・校正機器  
計測・検査・校正・校正機器



UDS-1VI/N-WP  
天和美研株式会社  
TEL: 03-6361-6577

## 今週の主な記事

第57回計量士国家試験 JEMICフォーラム2006開催①面  
2006分府展 盛況 社連協会 JQA校業務移転②面  
日電検・インテック開始 J-MOTOF2006今秋開催③面  
寄稿 横須賀健治氏、穂坂光司氏 ④面  
寄稿 黒須茂氏 第14回品質工学奨励大会報告⑤面  
資料・計量標準の供給開始と校正範囲の拡大⑥面  
寄稿・齊藤勝夫氏 計量ひとくちメモ、社説 ⑦面  
新製品 A・D・インテック 大場計器が大田フレンド、ほか ⑧面

# 第57回計量士国家試験

## 2007年3月4日、全国9カ所で実施

### 計量行政の重要な担い手

第57回計量士国家試験が、2007年3月4日(日)に全国9カ所で開催される。10月16日(月)から10月31日(火)まで出願を受け付ける。受験希望者は、希望試験地の各経済産業局担当課へ、願書を郵送する。昨年度の合格者は、一般計量士249名(合格率25.8%)、環境計量士(濃度関係)590名(同12.0%)、環境計量士(騒音・振動関係)206名(同15.5%)となっている。経済産業省が主導する計量制度の見直し過程でも、計量士の活用が方向性にうたわれており、今後も社会の重要な役目を担う国家資格であるといえる。

経済産業省は、第57回計量士国家試験の試験実施地を、高松市、福岡市、那覇市、仙台市、東京都、札幌市、広島市、名古屋市の9カ所を告示した。今年度は2007年3月4日(日)に実施する。試験地は、札幌市、仙台市、東京都、那覇市、広島市、名古屋市の9カ所。

理を的確に行うために必要な知識経験を有する者として経済産業大臣により登録された者。主な職務に、特定計量器の検査、定期検査の代検査などがある。

▽一般計量士  
【願書受付期間】10月16日(月)～10月31日(火)(郵送のみ、当日消印有効)  
【受験手数料】いずれの区分も受験手数料として、8500円の収入印紙を受験願書に貼付する。(受験票送付のため、必ず50円切手を受験願書の所定の場所に貼付)  
【受験願書受付先】受験を希望する試験地の各経済産業局担当課(全国)

9ヶ所)へ、郵送で申し込みをする。  
【提出書類】計量士国家試験受験願書(試験科目の免除を受けようとする者は、既に合格した計量士区分の合格証書の写しを受験願書裏面に貼付)  
【受験願書配布】10月2日(月)～10月31日(火)、土曜・日曜・祝日を除く9時30分から17時まで、各経済産業局担当課(全国9カ所)において配布。郵送を希望する場合、140円切手(2部は200円、3部は240円、4部から8部は390円切手)を貼り、宛名及び希望部数を明記した返信用封筒

【合格発表】07年5月末頃(予定)。合格者の受験番号を官報、及び経済産業省ホームページ(<http://www.meti.go.jp>)に掲載し、合格証を郵送する。不合格者には特に通知しない。試験の可否結果の照会には、一切応じない。  
【受験資格】特に制限はなく、誰でも受験できる。(受験願書の配布、受付先は②面に掲載)

### 日本電気計器検定所

## JEMICフォーラム2006

### フィンランドのサロ氏がMIRDの現況伝える

日本電気計器検定所 長は9月6日、「JEMICフォーラム2006」を東京都品川区のきゅりあん1階小ホールで開催した。

今回のテーマは「最近のメータリングシステムの動向」と題し、電気、ガス、水道メータ等のユーティリティ実施を広く社会に伝える

標準会議)TC13(電力計量専門部会)の国内委員長で、電気計器に携わって30年のサロ氏が、EU圏内でもとくに電気自由化が進んでいる北欧のメータリングシステムについて、現況を紹介した。また、MIRD(欧州計量器指令)施行を来月に控え、MIRDに適合させるための仕組みや、技術基準の線引きをどうで設けるか、といった制度の問題点を説明した。東京電力(株)の青木徹氏は、電力会社における電



講演に先立ち、大野理事長が挨拶した。日電検の業務は、電気計器の検定・検査や標準供給のほかに、電気取引の適正な実施を広く社会に伝える

今回のテーマは「最近のメータリングシステムの動向」と題し、電気、ガス、水道メータ等のユーティリティ実施を広く社会に伝える

子式電力量計システムについて講演した。電力料金単価は長らく一律だったが、1990年代から、顧客ニーズに対応した料金メニューを始めた。より多様化、細分化するサービスの変遷と合わせて進化する電

(次号以下につづく)

湿度の校正はSATOへ  
株式会社 佐藤計量器製作所  
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1  
TEL: 03-5561-1111 FAX: 03-5561-1112  
E-MAIL: jic@jic.or.jp